

# 「ひめえん」の活動について

ひめえん

(執筆者 前田 千尋)

## 1. 団体説明

姫路城の城下町として栄えた築120年前後の町家を活用して、町家カフェ「しょうあん」の営業を行う学生団体。“姫路の縁をつなぎたい”という思いから「ひめえん」という団体名を掲げ、姫路でこだわり持ってお米を育てている農家さんのお米や、季節の野菜を使ったカフェを営業していた。

## 2. 2019年度の活動

毎月1、3、5週目の土日に、しょうあんにてカフェを営業した(営業時間11:00~16:00)。今年度のしょうあんでの営業日数は17日間である。今年度はイベントへの参加はなく、主に試作としょうあんでの営業を行った。ひめえんは、今年度の9月をもって活動を終了した。

表1: 2019年度営業日(筆者作成)

月	日
4月	6日、7日、20日、21日
5月	4日
6月	1日、2日
7月	6日、7日、20日、21日
8月	3日、4日、17日、18日、31日
9月	1日

8月と9月はかき氷とドリンクのみの提供をした。それに加え、より多くの人にしょうあんのことを知ってもらうために、しょうあんの無料開放も行った。無料開放を行っていた営業日の中には最高気温が30℃以上の真夏日もあり、しょうあんは休憩所として利用された。姫路の縁をつなぐためにカフェ営業を行うだけでなく、しょうあんという空間自体を知ってもらう取り組みが特に印象に残った。

## 3. 活動を通して学んだこと

活動を通して学んだことで特に印象的なのは、食を提供する立場に立つことによって学ぶことができた「食を提供することの奥深さ」である。

まず、試作を何度も繰り返した。試作をしてもなかなか納得できる味にはならなかった。また、営業日に効率よく提供するために全員がそのメニューを作るようにならなければならなかった。そのため、レシピを完成させるまでも、完成させてからも何度

も試作をした。

準備したものを提供するためには、お客様に来ていただく必要がある。そこで、より多くのお客様に来ていただくための取り組みに力を入れた。例えば、SNSを積極的に活用したり、店の前に出す黒板に書く内容を工夫したりした。

それでも厳しい意見をいただくことや、お客様が少ない日もあった。そのため、メンバーでアイデアを出し合い、試行錯誤しながら活動をした。

その分、お客様から美味しいと言ってもらえたり、たくさんのお客様に来ていただけたときは大きな喜びや達成感を味わうことができた。

## 4. 今後の展望

ひめえんは2019年度に活動を終了した。しかし、ひめえんとしての活動を通して多くのことを学ぶことができた。今後は、学んだことをメンバーそれぞれが他の活動に活かしていきたい。また、今後も多くの方がしょうあんに興味を持ち、しょうあんを利用してほしい。



図1: 町家「しょうあん」(所属学生撮影)



図2: 6月1日提供のランチ(所属学生撮影)